

身の丈にあった、健全な行財政で元氣創造をめざすまち

「足るを知る」の精神で必要財源を確保

政府は、平成21年度の地方財政対策について「雇用創出や地域における安心・安全の確保、地域活性化などに向けた事業を地方が円滑に進めるための地方交付税の増額などにより、必要な財源を確保する」としております。しかしながら、地方税の減収や社会保障費の増加、高い水準で推移する公債費の負担などにより、地方財政は依然として厳しい状況が続いております。本町においては第8次山田町総合発展計画と整合する財政計画に基づき堅実な施策と事業の執行に努め、「足るを知る」の精

神に必要な財源を確保し、財政健全化判断比率に配慮しながら、効率的な財政運営を推進してまいります。また、自主財源の確保のため、岩手県地方税特別滞納整理機構との連携、納税相談や実態調査・分析に基づく滞納整理により町税の収納率の向上に努めるとともに、「山田町ふるさと応援基金」については、引き続きふる里山田同郷の会の皆さまをはじめ当町にゆかりのある方々に対し、ふるさと納税制度のPRに努めます。

行政改革については、集中改革プランにより一定の成果を上げておりますが、町民サービスや事務に支障が生じないよう事務事業の見直しや職員研修の充実に努めながら、今後も推進してまいります。

宮古下閉伊広域圏の連携・協調により広域行政サービスの向上に努め、効率的な行政サービスを推進します。

国・県事業の導入促進については、国、県、関係機関へ事業促進と本町の課題解決に向け、要望活動を継続してまいります。

第8次山田町総合発展計画・後期基本計画は、平成27年度を



目標年次とし、住民協働による活気あふれるまちづくりができれば計画となるよう策定作業に着手してまいります。

◆ ◆ ◆
以上、平成21年度における主要な施策について申し述べてまいりました。

米国に端を発した世界同時不況の大波は、この地域にも容赦なく押し寄せ、雇用不安、景気悪化の影響が日常生活にも及んでおります。

私は、この苦境を乗り切るために国の景気対策予算の積極的活用を図るとともに、町の独自

施策も盛り込みながら町民の皆さんの要望に可能な限りお応えする決意であります。

「明けぬ夜はない」「夜明け前が一番暗い」と申します。

この厳しい状況にあっても町民の皆さんが丸となって努力するならば必ずや道は開けるものと信じます。私もその先頭に立つて全身全霊を傾注いたしますことをお誓いするものであります。

町民ならびに議員の皆さまの町政に対するご理解、ご協力をお願いして施政方針とさせていただきます。



集中改革プランにより事務事業の効率化を進めます